

(国語) 前期選抜採点基準

「採点基準」で処理できない場合は、各校の統一見解で採点されたい。

19点 2									19点 1									問題	配点	正答例	備考					
(八)	(七)	(六)	(五)	(四)	(三)	(二)	(一)		(七)	(六)	(五)	(四)	(三)	(二)	(一)											
二点	四点	二点	二点	二点	三点	二点	二点		四点	一点	二点	二点	二点	二点	二点	六分										
ウ	苦味は毒素の存在を知らせる味であり、毒が含まれるものを食べて命を落とすかもしれないから。(四十四字)	人体に必要な栄養素の存在を知らせるシグナル	経験的なおいしさは、	ア	脳が五感を使って食べ物を受け取り、食べてよいと判断した食べ物をおいしいと感じること。(四十五字)	エ	ウ	② 動きを封じられていた(状態。)	① A イ	エ	いとうつくしゅうおいなりにけり	① エ	① ア	① イ	⑤ 遺跡	③ しんぼく	① なご(む)	② B オ	② ア	② ウ	② エ	⑥ 補給	④ 編(む)	② ほま(れ)		
	<ul style="list-style-type: none"> * 文章の展開に即して内容をとらえ、的確にまとめる力を見る問題である。以下のような観点に基づいて採点されたい。 <ul style="list-style-type: none"> おいしさは舌や口の中ではなく、脳で感じているとは、具体的にどのようなことかを的確にとらえているか。 本文中の言葉を使って、的確にまとめているか。 同様の趣旨であればよい。 字数の不足・超過については一点を減じる。 表現に関する誤り(文法、文体、語句の意味・用法、主述の照応等)、表記に関する誤り(文字、仮名遣い、句読点、符号の用い方等)が二か所以上あるものは一点を減じる。 				<ul style="list-style-type: none"> * 文章の展開に即して内容をとらえ、的確にまとめる力を見る問題である。以下のような観点に基づいて採点されたい。 <ul style="list-style-type: none"> おいしさは舌や口の中ではなく、脳で感じているとは、具体的にどのようなことかを的確にとらえているか。 本文中の言葉を使って、的確にまとめているか。 同様の趣旨であればよい。 字数の不足・超過については一点を減じる。 表現に関する誤り(文法、文体、語句の意味・用法、主述の照応等)、表記に関する誤り(文字、仮名遣い、句読点、符号の用い方等)が二か所以上あるものは一点を減じる。 			* 二点。	* すべて正答の場合のみ、二点。			* 各一点。	* 各一点。	* 各一点。	* 各一点。	* 各一点。	* 各一点。	* 各一点。								

(裏面へ続く)

合計 五十点		12点	3
		(二)	(一)
	八点	二点	二点
	<p>私が考える「健康的な生活」をするために必要なことは、毎日、きちんと朝食を食べることです。なぜなら、毎日、きちんと朝食を食べることで、その日一日をしつかりと過ごすことができるからです。私は、以前、朝、起きるのが遅くなつて、朝食を食べずに登校したことがあります。その日の午前中は、お腹が空いてしまつて、集中して授業を受けることができませんでした。体育の授業では、体に力が入らずに、しつかりと体を動かすことができませんでした。また、私の友達も、朝食を食べなかった日の午前中は、体調がよくなく、保健室で休んでいることがありました。</p> <p>私は、このような自分の経験や友達の様子から、きちんと朝食を食べることの大切さを実感することができました。毎日、きちんと朝食を食べるように心がけ、生活リズムを見直し、「健康的な生活」を送ることができるようにしたいです。</p> <p>(三百八十九字)</p>	<p>寝る直前には情報機器を操作しないほうがよい</p>	<p>十分ではない</p>
	400 300 200 100		
			<p>* 自分の考えをまとめ、的確に伝わるように適切に書きあらわす力をみる問題である。以下のような観点に基づいて採点されたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「健康的な生活」をするために必要と考えることについて、自分の考えを明確に書きあらわしているか。 ・ 自分の考えの根拠を明確に書いているか。 ・ 自分の体験や見たり聞いたたりしたことを具体的に取り上げているか。 ・ 自分の考えが相手に的確に伝わるように、論理的に書きあらわしているか。 <p>* 出題の趣旨に合っていればよい。</p> <p>* 字数の不足・超過については、二十字以内の場合は一点を減じる。二十字を超える場合は二点を減じる。</p> <p>* 表現に関する誤り（文法、文体、語句の意味・用法、主述の照応等）、表記に関する誤り（文字、仮名遣い、句読点、符号の用い方、原稿用紙の使い方等）が二か所あるものは一点を減じる。三か所以上あるものは二点を減じる。</p>